

ノーム通信108(号外) 2005-6

〒130 0026 東京都墨田区両国 4-30-4-1109



地球博の「地球市民村」に6月だけなのですが、小さなパビリオンを一ついただいて、そこで「トイレ探検館」というのをやっています。自分たちのパビリオンですので、運営がけっこう大変ですが、バングラを初め、アジア、アフリカなどで世界の24億の人たちが便所が欲しいのになど、便所がない学校や幼稚園、保育園に便所を作る話や、緊急援助隊が持っていく簡易便所の紹介などをしながら、うちひとつにしても地球規模の大きな食物連鎖の輪の中にあるのだとわかってもらい、

きれいな水を確保する為の便所の問題などを、食物連鎖曼荼羅などをみてもらいながら来る人たちを一人一人捕まえて話し続けてきました。後半は6月22日から27日まで又行く予定です。たくさんの人たちに話し続けてきましたと思っています。

設営から5日まで行ってききましたが、大盛況です。設営はほぼ徹夜に近い状態のまま、翌日の朝9時から夜9時までたくさんのお客さんを迎えました。

雨天でも900人以上、晴れていると1100人程度、土日は勘定出来ないくらいの人がいっぱい集まっています。子供達相手にロールペーパーに感想などを書いてもらっていますが、1日200枚くらい集まります。その中の一つにこんなのもありました

「何も知らずにのんきに生活していて、はずかしい気持ちです。エキスポの本当のパビリオンがこの村だと感じました。みんなでこの地球を大切にせねばと痛感しました。K/M6月2日」とか、

バングラの食物連鎖の考え方に感動したメキシコのおっきな建築家が感動してくれて、子供達に混じってじっくり感想文を書いてくれて、どうしても食物連鎖の曼荼羅がほしいと言うことで、差し上げたら大喜びで持って帰り、大分立ってから、自分の都市計画のCDデータを持ってきて、「考え方が似ている」と大力説いて日本に来て良かったと喜びながら帰って行きました。

アメリカの娘さんもパビリオンの回りに貼ってあるバングラ用の紙芝居の英語版がほしくて、2日続けて来てくれて、プリントアウトなどを持っていきました。「向こうでこんな循環式の考え方を広めてください。」と言ったら、この紙芝居を持っていってみんなに広めるんだと言っていました。

みんな朝9時前から夜9時過ぎまで客の呼び込みや、アジアやアフリカの写真の説明、バングラの説明、大挙してやってくる子供達の整理、などを休む間もなく繰り返して、声が涸れました。宿は雑魚寝で寝間着もないし、帰ってくる部屋を換えられていたり、冷蔵庫もない部屋だったり苦勞していますが、とりあえず元気に活動しています。

紀子様が来たり、テレビも何局もきてみんな喜んで撮影していきますし、連日プレスも来ています。テレビで見たというお客さんももっと知りたいと言って来て来てくれています。小規模な分、人が大切です。語ればけっこう目を輝かせて聞いてくれます。メーカーさんからの応援の人も脇で説明を聴いてくれてこちらがいない時に代わりに一生懸命バングラのことや便所のない学校の事を説明してくれる人もいて感謝しています。

一昨日ブースの前のベンチでこしかけていたおじいさんが

奥さんと呼んで「ここには違う空気が流れているなー。」「別の世界のような、来てよかったなー。」と話しているのを聞きました。以上とりあえずの報告をしておきます。GNOMES

6月の「まなざし」の編集は18日です。

<http://www.interq.or.jp/japan/gnomes/gnomes1>

TEL/FAX03-5600-0195 高村 哲 GnomesJpn@aol.com